



## 米 Joby Aviation への出資について

2020年7月21日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、eVTOL (通称「空飛ぶクルマ」) の開発・実用化を進める Joby Aviation (以下、Joby) へ出資しましたので、お知らせします。

### 1. 背景

イーブイトル  
eVTOL (Electric Vertical Take-Off and Landing、電動垂直離着陸機) は安全性・静寂性・環境性に優れ、特に将来の空飛ぶタクシーサービスでの活用を見据えて開発された次世代のモビリティです。昨今、新型コロナウイルスの影響により人々の移動は大きな制限を受けていますが、移動自体が無くなることはなく、eVTOL は新たな移動手段として重要な位置を占めると想定されます。

当社は「特色ある個性豊かな会社」を目指しており、「CASE・MaaS」といった新しい領域へ積極的に対応している中、この eVTOL へも早期に取り組むべきと考え、トヨタ自動車株式会社がリードインベスターを務めるシリーズCの出資ラウンドに参加する形で、高度な航空技術・開発能力を持つ Joby へ出資しました。Joby とは空飛ぶタクシーへの保険に関する将来的な協業に合意しております。

### 2. 概要

#### (1) Joby について

Joby は eVTOL の開発に取り組み、将来は空飛ぶタクシーサービスの提供を目指している企業です。2009年の創業以来、航空宇宙やソフトウェアに長けた優秀な技術者を配し、「10億人の人々に1日1時間、時間を節約してもらおう」というビジョンを掲げています。

会社名	Joby Aviation	
HP	<a href="https://www.jobyaviation.com/">https://www.jobyaviation.com/</a>	
代表者	JoeBen Bevirt (ジョーベン・ビバート)	
所在地	米国カリフォルニア州サンタクルーズ	
設立	2009年	

#### (2) 同社 eVTOL の特長

- ①業界屈指の航続距離 (通常約 240km、最大 300km 超) ・飛行速度 (最高時速約 320km) を誇り、かつ静寂性にも優れています。
- ②万が一、プロペラが一つ壊れても問題なく運行できる安全性の高い設計であり、航空機と同じ飛行制御システムを組込むことでパイロットの負担を軽減することができます。
- ③オペレーティングコストは一般的なヘリコプターと比べ大幅に効率化が図られています。

#### (参考) 当社との協業に対する JoeBen Bevirt (ジョーベン・ビバート) 氏のコメント

今後登場する新たなモビリティを深く理解したい、そしてその専用保険を検討していきたいという想いを持つあいおいニッセイ同和損保からの出資を受け入れることは、我々 Joby にとって大変有意義です。今後、あいおいニッセイ同和損保と共に、日本を中心に eVTOL 事業が展開できることをとても楽しみにしています。

### 3. 今後の展開

Joby との協業を通じて eVTOL に関する知見を得ながら、専用保険商品・サービスの検討を進めて参ります。運転挙動に応じて保険料が変動するテレマティクス自動車保険のパイオニアとして培ってきたノウハウを生かし、eVTOL の飛行実態に応じて保険料が変化する商品の研究もしていく所存です。

また、当社では日本各地で計画されているスマートシティへの対応も開始していますが、eVTOL はスマートシティと各空港との間、及びスマートシティ同士を繋ぐ交通手段としての活用も期待されており、スマートシティに関わる皆さまへ安全・安心を提供する観点からも、eVTOL への取り組みを進めて参ります。

【参考：Joby の eVTOL】



以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

